岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　国道182号外道路災害復旧事業に伴う業務委託（一般国道182号）

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　道路　地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	Bor.No.3-1	調査位置	広島県神石郡神石高原町地内	北　緯	34° 46' 12.7200″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	平成30年 9月12日～平成30年 9月13日	東　経	133° 16' 55.5800″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	413.10m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D-0	
総掘進長	8.00m		エンジン	ヤンマーディゼルNFD-13	ポンプ　東邦地下工機BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔状況 削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
1				泥岩	明褐～褐	w5	h1	E	Ⅶ	d	DL	0[0](100)	全体的に角礫が30～40%位混る、砂礫状を呈する。原岩組織はほとんどない。粘性分がやや多く混る。												66／ケーシング	S／MC	0.0	0	0.0	W1 0.0	0.0
2												0[0](100)	GL-1.0m付近に植物片が混る。																		
3												0[0](100)	GL-3.6～3.7m付近は、礫混り粘性土。																		
	409.40	3.70										0[0](100)	破砕度区分はCr4。																		
4	408.80	4.30			明褐				Ⅵ				全体的に風化している。													ダブル／MC	100	80	1.0	W3 12.0	0.0
	408.30	4.80				w4		D	Ⅳ	c	DH	0[0](100)	GL-3.7～5.8m付近、やや硬質。																		
5	408.00	5.10				w5		E	Ⅵ	d	DL		コアは短柱状～礫状を呈する。																		
	407.30	5.80				w4		D	Ⅳ	c	DH	12[12](100)	不規則な角度で亀裂が入る。																		
6	406.80	6.30				w5		E	Ⅴ	d	DL		GL-5.8～6.0m付近は角礫状を呈する。																1.0	W3 12.0	6.0～12.0
	406.50	6.60				w4		D	Ⅳ	c	DH	0[0](100)																			
7	405.80	7.30				w5		E	Ⅵ	d	DL		GL-6.0m以深は、やや硬質となる。	9/13 6.98									9/12								
	405.10	8.00				w4		D	Ⅳ	c	DH	7[0](100)	コアは短柱状～礫状が主体となる。										9/13						1.0	W3 12.0	2.0
8																															
9																															
10																															
11																															
12																															
13																															